

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスMoi!東所沢駅前教室				公表日	2025年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・壁は汚れやすいため、適宜掃除をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・ケース会議など行っている。	・職員会議や必要に応じて共有する場を作り、業務改善に努めていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・自己評価直後の振り返りを行い、職員会議や必要に応じて共有する場を作り、業務改善に努めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	外部評価を行っているかわからないため。	・どういう形で実施できるのか、内部で検討していきながら、必要に応じて実施できるように考えていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			・現在、支援プログラム作成し、公表に向けて準備を進めている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・フィードバック時に保護者と話せる時間があるので、こどもの情報をしっかり共有できる。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			・会議の前に計画書をスタッフ間で共有し、検討がスムーズに行えるよう対応した。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				

提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本は担当スタッフが考えているが困った際など、相談できる体制が整っていると思う。</li> <li>個別療育のため、個人で行うことが多いが、ケース会議を定期的に行き、活動プログラムをチームで検討する機会がある。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>活動は同じでもやり方を変えるなど工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人の判断であるため、客観的な判断ができる場がほしいため、定期的にケース会議を開き、チームで検討する機会を設けていく。</li> </ul>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度、集団療育は実施していない。年度ごと実施できるか検討していく。</li> </ul>
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数職員で支援に対応する際は、事前に打ち合わせを行った。必ずではないが、必要に応じて行っている。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>必ずではないが、必要に応じて行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳記入等、個人内での振り返りは行われている。</li> <li>職員間で当日行われた支援について、振り返りが出来る場面を必要に応じて設定していく。</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は実施が無かったが、必要に応じて担当者が出席出来るように調整をしていく。</li> </ul>
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関と連携できているかは、わからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて各関係機関と連携が取れるように対応していく。</li> </ul>
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要があった場合のみ共有出来ている。</li> </ul>	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要があった場合のみ共有出来ている。</li> </ul>	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡会などで交流をしているため、必要に応じて連携を図っている。</li> </ul>		

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5			・現状実施できていないが、必要に応じて検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			・必要に応じて家族支援が出来るように対応している。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			面談を行える機会も設けている。また、フィードバック中に相談に応じたり共有している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5				Moilだよりを発行している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2			・行事に招待することがない。 ・学生実習の受け入れを定期的に行っている。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		・マニュアルを保護者に周知出来ているか知らない。	・契約時やお便りなどで周知している。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5				・予防接種は聞いていない。 ・フェイスシートなどで把握できるように必要に応じて確認をしている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2			・対象となる利用者が今のところいないが、必要に応じて対応を検討していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5				・お便りを発行し、周知している。

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	3	身体拘束を行う機会がなく、説明など行ったことがないためわからない。	・今のところ、対象者がいないため、必要に応じて保護者と一緒に対応を検討していきたい。